

平成20年3月19日

南海電気鉄道株式会社

環境に優しい駅、きれいな駅を目指して

日本で初めて「無水小便器」を大量に導入します

南海電鉄（社長：亙 信二）では、環境に優しい駅、きれいな駅を目指して、洗浄の水を使用しない「男性用無水小便器」の導入を、平成19年3月（箱作駅）から開始し、現在18駅（73台）に設置しています。

これほど多くの台数の無水小便器を導入しているのは、日本国内に例がなく、当社が日本で初めての大量導入の事例となります。

21世紀は「水の世紀」とも言われ、昨年12月には大分県別府市で「第1回アジア・太平洋水サミット」が開催されるなど、水資源の重要性がクローズアップされています。

一方、鉄道はエネルギー消費が少なく、環境負荷の小さい交通機関です。当社では、その環境保全への貢献を一層推進するため、「水」の消費削減に加え、「二酸化炭素」の排出も削減できる無水小便器の設置を推進した次第です。現在設置している無水小便器による節水効果は年間約2万2千トン、二酸化炭素排出量の削減効果は約12.7トンと想定しています。

また、水を使用しないことで、水の中のカルシウムイオンと尿が反応してできる尿石（悪臭のもと）ができにくく、カートリッジ上部の密閉液によって配水管から上がってくる悪臭を封じ込めるため、臭いの発生を防ぐこともできます。

詳細は下記のとおりです。

記

1. 無水小便器について

(1) 商品名 ウォーターフリー

(2) メーカー ファルコン・ウォーターフリー・テクノロジーズ社
(日本代理店 株式会社省電舎)

2. 設置駅及び設置台数（平成20年3月19日現在）

18駅・73台

内 訳

南海線：難波（6台）・新今宮（4台）・住吉大社（4台）
 諏訪ノ森（2台）・春木（2台）・岸和田（9台）・貝塚（4台）
 尾崎（2台）・箱作（2台）・和歌山市（6台）
高野線：堺東（4台）・三国ヶ丘（3台）・百舌鳥八幡（2台）
 中百舌鳥（8台）・初芝（2台）・北野田（5台）
 金剛（4台）・千代田（4台）

今後、順次設置駅を拡大していく予定です。

3．環境保全効果

（1）節水効果

年間約22,000トン（想定）

当社鉄道事業の年間水使用量（約367,000ト）の約6％に相当します。

家庭用1人1日の平均使用水量（314リットル・注1）で換算すると、約7万人の人が1日に使用する水量に相当します。

【注1】国土交通省 土地・水資源局編集「日本の水資源」平成19年版
第 編第2章「水資源の利用状況」中「家庭用水」から

（2）二酸化炭素排出量削減効果

約12.7トン（想定）



難波駅に設置の無水小便器